

職朝での校長挨拶 13

おはようございます。今日から「向き合う」シリーズです。（注：山口地区三附属学校園では目指す子どもの姿を、「対象と向き合う子どもの姿、他者と向き合う子どもの姿、自己と向き合う子どもの姿」に定めています。）

最初は「対象に向き合う」です。動物や赤ちゃんは世界に埋没しています。ですから対象というものを持ちません。人間だけがそうしたあり方から目覚め、意識をもつことによって世界を対象にします。

しかし私達はすでに世界の中で生きていますから、それを対象にすることは原理的に出来ません。つまり「対象に向き合う」ことは原理的に不可能なのです。対象にならないものを対象とすることによって、対象は「どこまでも分からないもの」という相（すがた）を示すことになります。すべての教科は世界をそれぞれの視点から探究するものですが、探究に終わりが無いのはそのためです。

続きはこの次にお話しします。今日も一日よろしくお願いいたします。